

田んぼに投げ込むカリとケイ酸!

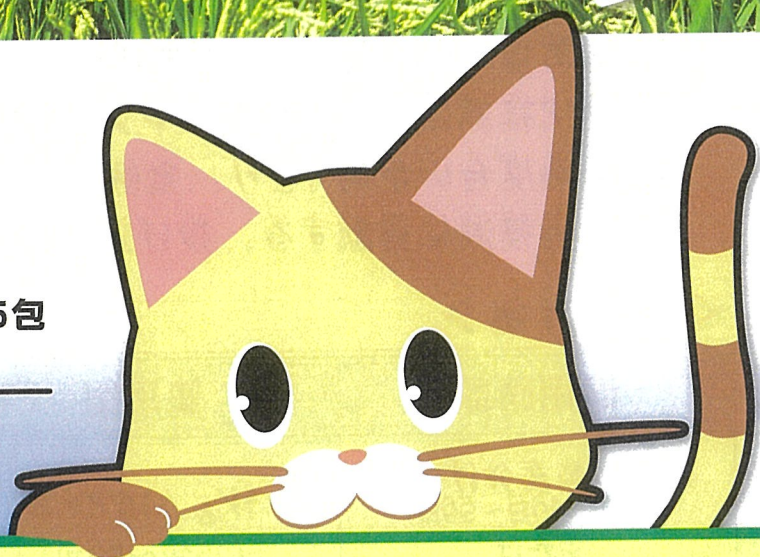
水稻追肥用投げ込み肥料

メイトーなげこみ

ネコみみ立てた!



40g×25包
=1Kg入



!つかいかた

- ① 中干し前後、水を張ってご使用ください
 - ② 畦から 1kg を均一に投げ込んでください
 - ③ 投げ込み後は 4日間止水してください
- ※ 開封後は速やかに使い切ってください

MCE 名東ケミカルエンジニアリング株式会社

名古屋市中区錦1-13-19 名錦ビル 4階 TEL 052 (218) 6023

H P : <https://meito-chem.co.jp/>



効果や実例はこちらからご覧ください! >>>



水稲追肥
投げ込み肥料

メイトーなげこみ ネコみみ立てた!

入目：1Kg (40g×25包) アルミ袋封入

< 保証成分値 >

水溶性カリ	可溶性ケイ酸	水溶性ホウ素
20%	10%	0.5%

< 特 長 >

- ① 水溶性カリと可溶性ケイ酸により稲の発根と分けつを促します。
- ② 倒伏軽減になり、胴割れやシラタの発生を減少させます。
- ③ 登熟度合いが高くなり、食味が向上するとともに収量も増加します。
- ④ 労働軽減に貢献する、投げ込みパック材です。

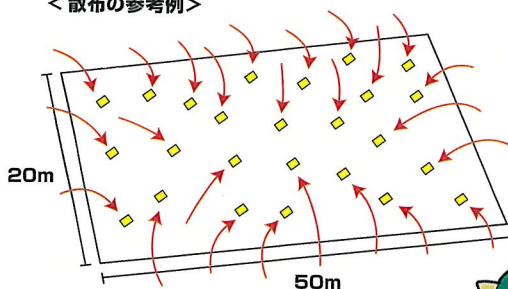
< 使用方法 >

使用時期	使用量	注意点
水稲の最高分けつ期 (移植後40日～50日) または 出穂 14日～30日前 (入水中)	1Kg / 10アール (25包～50包) 圃場に均一に投げ込む	水田圃場の周囲から均一に投げ込む。 水深5cm以上で使用する事。 投げ込み後、4日は止水すること。

水稲におけるカリはタンパク質の合成に必要で、一生のうちで窒素含量が最も高い最高分けつ期と幼穂形成初期に欠乏が起きやすいことが知られています。一方でケイ酸の吸収量は幼穂形成期以降に多く、その吸収量は60%を占め、移植期から有効分けつ期までの水稲のケイ酸吸収速度は遅いのですが、幼穂形成期以降から成熟期にかけて急速にケイ酸を吸収するといわれています。

こうしたことから、この幼穂形成期にカリとケイ酸を合わせて効かせることが、収量や食味・品質を良くするためには有効なのです。

< 散布の参考例 >



均一な投げ込みが不安な場合は少なめに投げ込み、残りを不足と思われる部分に投げ込むと均一性が高まります

止水をして圃場の周辺を回りながら6包ずつ投げ入れます。
無理に遠くまで投げる必要はありません。

